

中期経営計画が順調に推移

いちごグループホールディングス(2337)は、不動産再生など総合不動産サービス事業を展開。J-REIT(不動産投資信託)のいちご不動産投資法人(8975)をグループで運用している。また、太陽光発電を中心としたクリーンエネルギー事業も手掛けている。同社グル

ープは、株主価値の最大化を目指して、2016年2月期までの中期経営計画「Shift Up 2016」を策定している。16年2月期末までの東証1部上場と、「JPX日経インデックス400」構成銘柄への組み入れ(16年8月目標)を目指す。

16年2月期東証1部上場目指す

業績目標の達成へ 成長投資整う

1月13日に発表した15年2月期第3四半期累計(3~11月)の連結決算は、売上総利益74億5600万円(前年同期比28.6%増)、営業利益45億600万円(同40.8%増)、純利益35億6400万円(同3.6%減)となった。

物件取得の進展に伴い不動産収入が大幅に増加したため、売上総利益は28.6%増と大幅な伸びをみせた。さらに、第3四半期実施の「いちごリート」の戦略的な資産組換えに対するスポンサーサポートによる売上約21億円は第4四半期に計上する予定。したがって、15年2月期通期の連結営業利益77億円(前期比

96.8%増)、純利益60億5500万円(同33.8%増)は十分達成可能。15年2月期に想定した不動産投資700億円、メガソーラー投資100億円の目標は概ね達成され、不動産賃貸と不動産再生の両部門での14年12月末の保有不動産残高は取得価格ベースで1160億円に達した。含み益

は約158億円で、16年2月期もさらなる不動産投資と保有不動産の売却ペース加速により、高成長が維持できる見通しだ。

注目材料 メガソーラー は単月黒字化

15年1月上旬現在で、稼働中のメガソーラー発電所は15カ所(発電量で約20メガワット)に達する。2月から売電を開始する沖縄本島の「いちご名護二見ECO発電所(約8.4メガワット)」の稼働に伴い、太陽光発電事業が単月で黒字化する。既に確定している24発電所(約83メガワット)の今後20年間の減価償却後の営業収益を合計343億円と見込む。

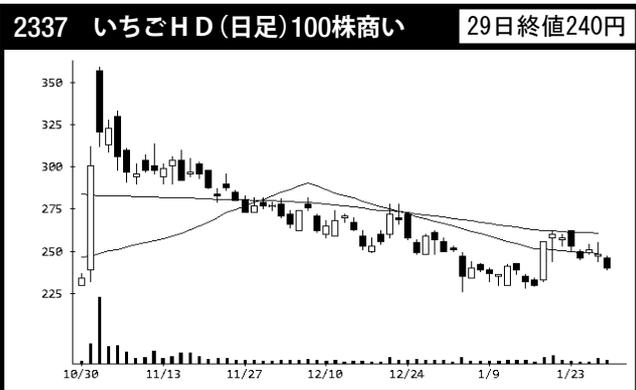


いちごリートが最近取得した恵比須のオフィスビル(左)と「いちご桐生奥沢ECO発電所」

株価展望 成長性評価した 株価推移に

株価は昨年10月末の急騰後、調整トレンドとな

っていたが、1月16日に228円で安値をつけて以降反転上昇の兆しをみせている。今後は成長性を評価した株価推移が期待できそうだ。



いちごHDの連結業績推移(計画含む) 単位:100万円

決算期	売上総利益	営業利益	純利益
13年2月期	4,974	1,844	1,637
14年2月期	7,435	3,912	4,526
15年2月期	11,742	7,700	6,055
16年2月期	15,500	11,400	9,050

2337

銘柄研究所

いちごHD

こちら